					平成20年度事務事業評価表			作成日:平成20年7月11日		
評価対象年度: 平成 19 年度				'	十成20十反争伤争某許叫农				管理	4-2-1-7
<mark>事務事業名</mark> 中山間地域等直接支払事業									部等名	産業建設部
予算	会 計		科目コート	科目コード		中山間地域等直接支払事業		課等名	農政課	
科目	一般		01-0601030	04	細々目名			係 等 名	農政係	
政策体系	基本目標	4	活力あるふるさとのまちづくり							
	施策	2 農業・林		林業の振興						
VIC. Til	基本事業名	1 農業生産基盤の整備								
	事業概要 ・ 実施内容	実施	を平成 2 1年 状況をホーム 助金の交付			事業の種類	□维持答案			業 ☑その他事業
根	拠法令等	本宮市中山間地域等直接支払交付金交付要網本宮市中山間地域等直接支払交付金交付要網 評価区分 □ 事前評価 □ 事後評価						来 凹での心事業		
重点	事業区分	□重	点事業	業実施	<mark>期間</mark> 🔲 :	継続 □単年	度 🗹 斯	間限定(	17 年度	~ 21 年度)
決算額	1 報酬			P	9 11 消耗品費		228,358 円	15 工事請		円
	7 賃金							18 備品購		円
	8 報償費				9 13 委託料				補助及び交付金	4,317,581 円
1 1	9 旅費	477 +WI +E	1 ( Do )	P	5   14 15円科及	ひ 士 英文本社	104,575 円	合	計	4,694,479 円

# .事務事業の現状把握(レロ)

#### (1)事務事業の目的と手段

#### 対象(誰を、何を)

県知事が指定する特認地域(中間農業地域)にあり、対象地域内に存する1ヘクタール以上の一団の農用地があり、集落協 定締結した集落

# 手段(事業の具体的な内容、手順等)

集落において5年間の最低限の農地管理等行う集落 協定を締結。

#### 意図(対象を、どのような状態にしたいのか)

耕作放棄の発生を防止し、国土の保全、水源のかん 養、良好な景観形成等の多面的機能を確保する

# 活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標

指標 名称 集落協定数 (1) 式

指標 名称 協定面積 (2) 式

成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標

指標 名称 締結集落数割

(1) 式 締結集落÷対象集落総数 指標 名称 締結面積割

式 締結集落面積÷対象地域総面積 (2)

事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか

集落の多面的機能の維持、確保が行われるとともに、地域の活性化が図られる。

# (2)指標・総事業費の推移

`	/=/ all in									
	区分			単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 ( 見込み )	21 年度 (最終目標)
		活動指標(1)						10	10	10
指		活動指標(2)						26.8	26.8	26.8
標		成果指標(1)		%				55.6	55.6	55.6
		成果指標(2)		%				56.0	56.0	56.0
		財	国・県支出金	千円				3,041	3,041	3,041
	事	源	地方債	千円						
投	業	内	その他	千円						
	費	訳	一般財源	千円				1,653	1,653	1,653
入			事業費計(A)	千円		0		4,694	4,694	4694
	人			人				0.1	0.1	0.1
量	件			千円				8,373	8,373	8,373
	費		人件費計 (B)	千円		0		837	837	837
		総	事業費 (A+B)	千円	0	0	0	5,531	5,531	5531

# (3)事務事業の環境変化・市民の意見等

事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?

集落での水路、農道の管理が継続して行われている。

この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?

協定による締結がなければ、集落での締結面積分の水路、農道の管理はできない。

本宮市行政評価システム 2.事務事業の評価 (Check)

		- 网络双沙地等压。						
		[ 目的妥当性評価 ]						
	施策体系との整合性	市が行なう必要性	対象・意図の妥当性					
	☑有 【理由 】	☑有 【理由 】	☑有 【理由 】					
	□無 【理由 , 改革改善案へ】	□無 【理由 , 改革改善案へ】	□無 【理由 , 改革改善案へ】					
		条件が不利な中山間地域で、地域内	実施状況について、ホームページに					
	本事業の遂行で、農業の振興に結びつ							
	<	の農業者が連携し、地域の活性化の存	おいて、公表しており対象・意図は妥					
	`	続を図るためには必要	当である。					
		[有効性評価]						
	*B • *		*エツま光しゃはさる。マルロ					
評	成果の向上余地	事業の中止・廃止による影響	類似事業との統廃合の可能性					
м	□有 【理由 , 改革改善案へ】	☑有 【理由 】	□有 【理由 , 改革改善案へ】					
価	☑無 【理由 】	□無 【理由 , 改革改善案へ】	☑無 【理由 】					
4-								
結								
	炒炸的 45 曲光 45 立江和	一部継続的な農業生産活動が行われな	おいま光けたい					
果	継続的な農業生産活動	くなる。	類似事業はない					
未		100						
	r shatel	生評価]	「公平性評価)					
	事業費の削減余地	人件費の削減余地	受益者負担の適正化余地					
	□有 【理由 , 改革改善案へ】	□有 【理由 , 改革改善案へ】	<b>—</b> 13 — — , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
	☑無 【理由 】	☑無 【理由 】	☑無 【理由 】					
		□無 【注四 】	□無 【注□ 】					
	交付金については、国の基礎単価に	係員数も決まっているなかでの事業	中山間地域事業においての受益者は					
	よる。	を行っているため削減余地無し。	特定されない。					
3.	評価結果の総括と今後の方向性							
(1)	1 次評価者としての評価結果	(2)全体総括(塩	り返り、反省点)					
(')	_		(り返り、反目示)					
	目的妥当性 🗸 適切 🔲 見	直し余地がある						
			接支払制度に取組み、これを契機と					
	有効性 ☑ 適切   □見	直し余地がある   十二回回地域寺直:	の維持・確保が行われるとともに、					
	効率性 ☑ 適切 □見							
			図られることが期待される。					
	公平性	直し余地がある						
/2\	今後の事業の方向性	* *	(5)改革・改善による期待成果					
(3).			. ,					
	□廃止 □休止 [	□事業の統廃合 □目的再設定	廃止・休止の場合は記入不要					
	□事業のやり方改善(有効性改善)	■事業のやり方改善(効率性改善)	コスト					
	□事業のやり方改善(公平性改善) [	☑現状維持(従来の通りで特に改革改善しな	い   削減   維持   増加					
		コ が 小雁 10 (						
(4)	<b>收革改善案の概要</b>							
			成維持					
			果 [ [ ] ]					
(6)	<b>牧革改善を実現する上での解決すべき課</b>	題と解決策						
( ) .	A PACIFICATION OF CAMINA ACTION							
<u></u>								
		<u></u>						
4.1	事務事業の2次評価結果 □ 2 2	欠評価対象 🗹 2次評価対象外						
			the Later et					
(1)	2 次評価者としての評価結果	(2)評価結果の根	・ 一					
	目的妥当性 □ 同切 □ 見	直し余地がある						
1	有効性 □適切 □見	直し余地がある 📗 📗						
		直し余地がある						
	公平性 □ 適切 □ 見	直し余地がある 📗 📗						
(2)			(4) 功益,功差是 6.2 如结形用					
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案)		(4)改革・改善による期待成果					
	□廃止 □休止 □目的再	設定 □事業の統廃合	廃止・休止の場合は記入不要					
1	□ 事業のやり方改善(有効性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ コスト □ 削減 維持 増加 □ サイン・ □							
1								
			* 低下					
			16/01					
<b>/</b> E\	その他 2次証価会議で投稿された声話							
(5)その他、2次評価会議で指摘された事項								
1								